

## 編 集 後 記

本号では教育学部理科教室に新設された環境科学研究室に着任された加藤氏に「モンスーンアジアの中の日本」という日本の降雨についての論文を寄稿して頂いた。改めて地球という「限られた容器」のなかで生活している我々を考えさせられた次第である。

ところで、人間というのは弱いもので、「規制」されて初めて真剣になれることも多い。私ども有機合成化学の世界ではジクロロメタンの廃液規制が厳しくなったのが非常にこたえている。よほど代え難い場合を除いてはジクロロメタンの使用を避けるようになったが、必然的に溶媒の選択にさらに神経を配るようになった。そうすると、意外に反応そのものを違った観点から見ようになった気がする。地球という限られた容器のなかで、他の生物と共存しつつ人類が生きていくには知恵を絞らねばならない。そのためには守るべきルールをさらにきちんと整備していかなくてはならないし、ルールを守るために不便に感じることもでてくるであろう。しかし、「後ろ向き」の不便で片づけてはもったいない。人類に力をつけてくれる不便さであるにとらえれば、きっといい知恵がでてくるものだと思うこの頃である。

伊 藤 敏 幸

# 6月は環境月間です。

— 恵み豊かな環境を  
未来につなぐパートナーシップ —

## 岡山大学環境管理センター公開講演会

「これからの環境問題—大学からの発言、大学の義務—」

開催日時：平成9年6月16日(月) 13:00~16:30

開催場所：岡山大学大学院自然科学研究科棟2階大会議室  
(岡山市津島中3-1-1 岡電バス「妙善寺」行き「岡大東門」下車)

### 経済学からみた環境問題

経済学部教授

中村 良平

### 地球環境問題

—今、何をなすべきか—

資源生物科学研究所所長

青山 勲

### 大学の環境問題

—これまでとこれから—

環境管理センター長

高木 茂明

教職員、学生、一般の方どなたでも  
自由に参加できます。

(参加申込不要、聴講無料)

## 岡山大学環境管理センター施設開放

開催日時：平成9年6月18日(水) 10:00~16:30

開催場所：岡山大学環境管理センター  
(岡山市津島中3-1-1 岡電バス「妙善寺」行き「岡大東門」下車)

教職員、学生、一般の方どなたでも自由に見学できます。  
(参加申込不要)

岡山大学環境管理センターでは、  
環境月間にあわせて公開講演会、施設開放を行います。  
これらの行事に参加し、環境問題を考え直してみませんか。  
多くの方の参加をお待ちしています。

上記の行事のお問い合わせは、岡山大学環境管理センターまで  
(岡山市津島中3-1-1、086(251)7279または7280)